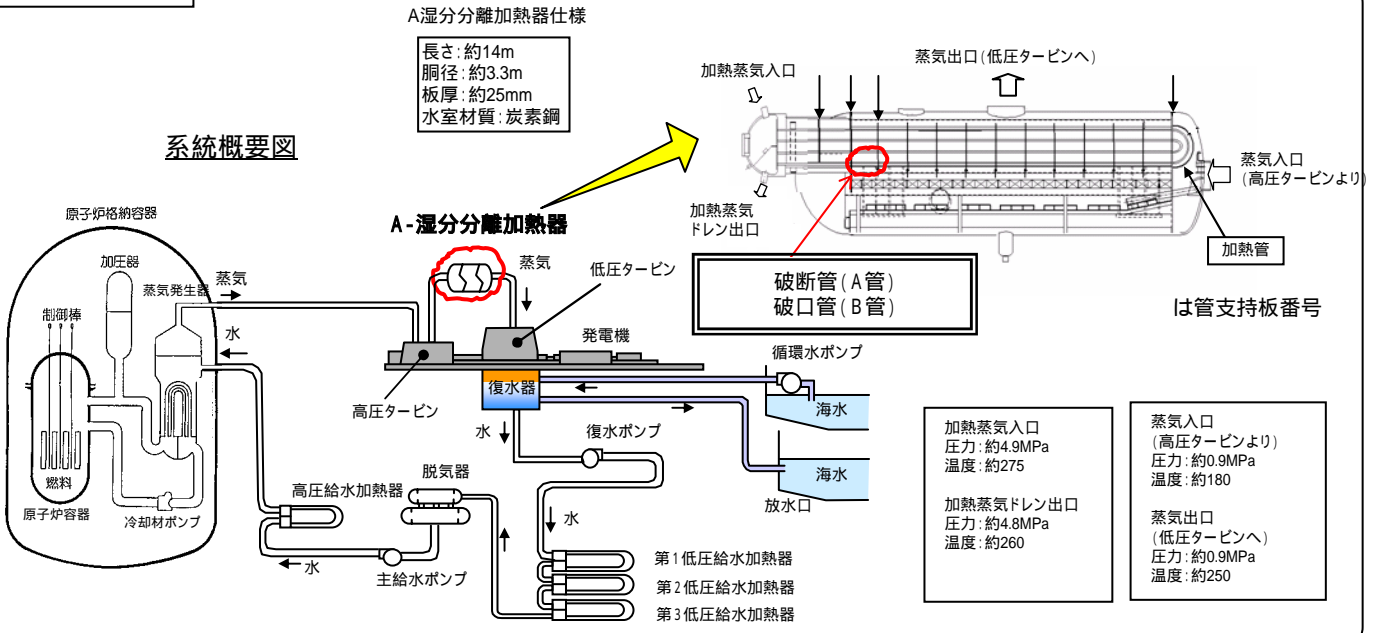


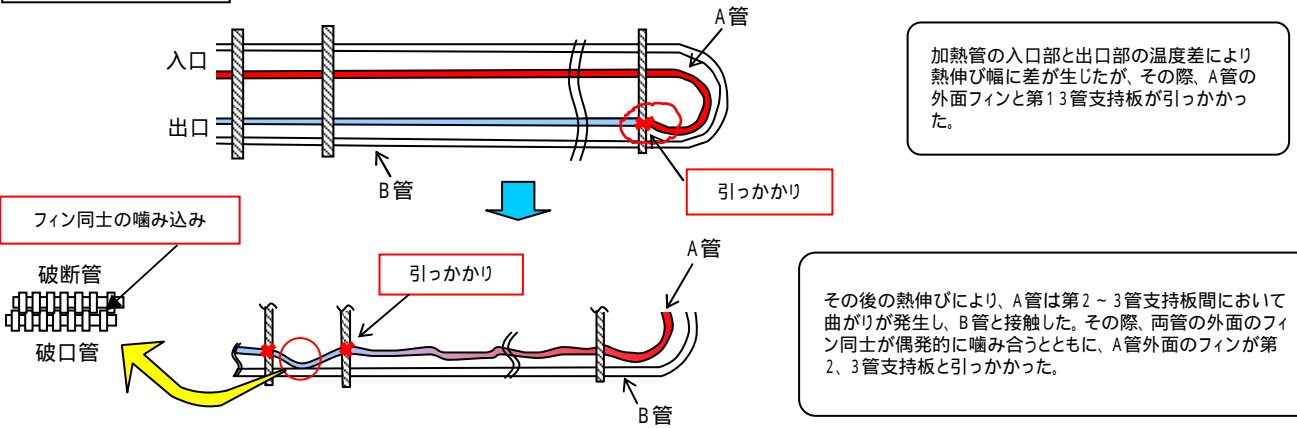
発生箇所

系統概要図

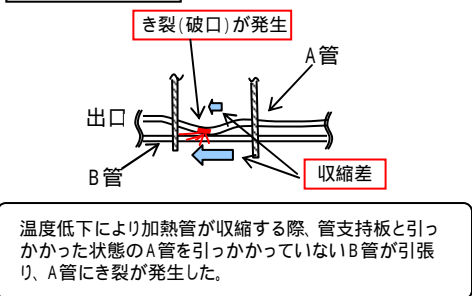


推定メカニズム

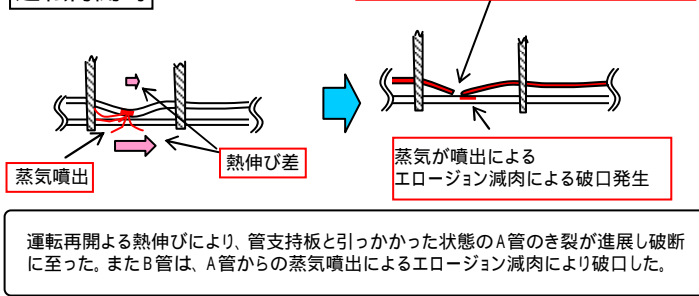
プラント出力低下時



プラント停止時



運転再開時



対策

破断管(A管)と破口管(B管)およびECTの判定基準(減肉深さ10%)を超えた加熱管等の合計42本について施栓し、破断管(A管)および破口管(B管)とその周辺の管の10本については、振れ止め防止用の補強棒を挿入した。

また、次回定期検査時に当該湿分離加熱器の加熱管を、最終管支持板とフィンが引っかからない構造のものに取り替える。

